

# 地域活性化におけるスポーツの役割とその変化



松橋崇史（拓殖大学商学部教授）  
2024年11月

# 自己紹介 松橋崇史

拓殖大学商学部教授

専門 スポーツマネジメント、スポーツ政策、ソーシャルイノベーション

## ●経歴

2004年慶應義塾大学総合政策学部卒業（体育会野球部所属）

2012年慶應義塾大学院政策・メディア研究科博士課程修了

2012年より 東京工科大学メディア学部

2016年4月より 拓殖大学商学部准教授

2023年4月より 拓殖大学商学部教授  
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授

## ●実践的な活動実績

実践研究（2013年度から）

- 次世代育成大学野球サマーリーグin新潟の企画・運営（2015年～）
- 大学野球オータムフレッシュリーグin静岡の企画・運営（2018年～）
- 大学野球スプリングフレッシュリーグin茨城の企画・運営（2024年～）
- その他、複数地域でのスポーツまちづくりに関与

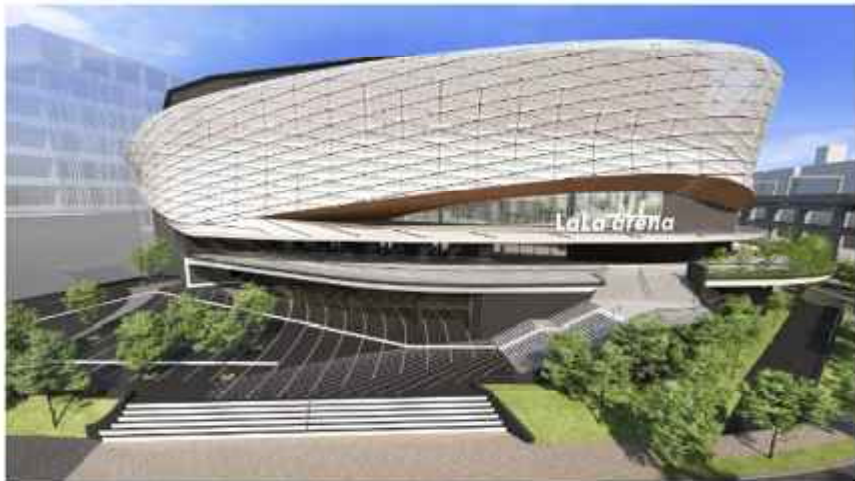
## ●学術的な実績

著書（共著）4本、主な学術論文36本



# 続々と誕生する新スタジアム・アリーナ

LaLa arena



[ J.T. URP ] LaLa arena [ 11070-0472 / 1148-010 ]

北海道ボールパーク



広島ピースウィングスタジアム



長崎シティスタジアムプロジェクト



# 都市戦略としてのスポーツまちづくり・地域活性化

- メガイベントの開催
  - 2020東京オリパラ、2026愛知・名古屋アジア大会
- メガイベントの事前キャンプ
  - 東京2020大会がトリガー（静岡県下田市、静岡県沼津市、山形県村山市他）
- プロクラブ・トップチームの創設・移転
  - 北海道北広島市（北海道日本ハムファイターズ）、茨城県守谷市（ヤクルトスワローズ2軍）
  - 茨城県鹿嶋市（鹿島アントラーズ）、愛媛県今治市（FC今治）
- 気候、地形や道路
  - 大都市のマラソン大会、地方都市のマラソン大会（指宿など）
  - 冷涼な気候を活かしたスポーツ合宿地の形成（長野県菅平など）
  - しまなみ海道サイクリングロード、つくば霞ヶ浦りんりんロード、トレイルランニング、トライアスロン
- 施設建設
  - スタジアムアリーナの建設（明治神宮外苑、北広島市、長崎市）
  - アーバンスポーツ施設の建設（茨城県笠間市、境町、神奈川県藤沢市）

## 国の政策の変化

- スポーツ基本法の施行（2011年）
  - スポーツ庁の創設（2015年）
- 地域活性化のドライバーとしてスポーツの役割が明確に

# スポーツまちづくりにおける都市間競争

特定種目への集中と「強化」「普及」「場の創出」と価値共有

- 強化・高度化
  - 一貫指導・育成体制の構築、強化に向けた関係者の熱量が大衆化やイベント開催にも不可欠
  - ナショナルプレイヤーの誕生と強力な情報発信
- 普及・大衆化
  - 若者世代への浸透、理解者の増加
  - 成人が取り組める生涯スポーツへのアレンジ、健康増進への貢献は不可欠
  - 種目の持つコンセプト／メンタリティと都市戦略・都市政策をシンクロさせ、価値を共有することが重要
- 場の創出
  - メガイベントの開催：全国・世界からトップ選手が集まることで強化・普及のドライバー
  - 施設や場所の整備：競技の場、強化・普及を促す
  - イベントや施設運営を通じた組織育成効果、民間事業者・スポーツ団体育成が鍵
  - イベントや競技の情報発信の促進

多くの市民生活を向上させる「文化」として創造していくことが重要

**新たなコンセプトをスポーツを通じて発信する**

# プロ野球を核とした「共同創造」で投資を誘引

## ■現時点のFビレッジ (施設内容)



出典：～2024年 Nipponham IR Day～北海道日本ハムファイターズファイターズ スポーツ&エンターテイメント

# マリンスポーツのまちづくりと地域活性化

